

科目名称：	プレゼンテーション演習（美術学科）	
担当者名：	和田 紘樹	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
人にものを伝えるということが難しいということエクササイズを通して理解し、在学中、および卒業後、社会でのさまざまなプレゼンテーションの場面において役立つプレゼンテーションの基礎的な理論と技術を身につけます。この授業では人前での発表やグループワーク、人と関わる機会を多く設けています。		
授業の達成目標・到達目標		
人前で話することに慣れ、明瞭な話し方で、伝えたいことを確実に伝えることができるようにすることを教育目標とします。また人前で話すことへのトラウマや抵抗感をなくし、自尊心、自己肯定感を養うことも目標です。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	実技テスト プレゼンテーション	提出課題 (レポート含む)	授業への積極性	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)					0
美術DP(3)					0
美術DP(4)		60	15	25	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
プレゼンテーション力	プレゼンテーションに対する情熱を持ち、聴き手に配慮ができ、適切な声や姿勢でプレゼンテーションすることができる	聴き手に配慮ができ、適切な声や姿勢でプレゼンテーションすることができる	適切な声や姿勢でプレゼンテーションすることができる	適切な声や姿勢でプレゼンテーションが十分にできていない。
コミュニケーション力、協調性	グループワークに積極的に参加し、グループのメンバーと十分に協力して活動することができる	グループワークに参加し、グループのメンバーと協力して活動ができる	グループワークに参加し、グループのメンバーとある程度協力して活動ができる	グループワークに参加に消極的で、グループのメンバーとあまり協力できていない
表現力	プレゼンテーションに必要なスライドなどの（パワーポイントなど）ビジュアルツールを工夫して制作することができ、魅力的に表現することができる。	プレゼンテーションに必要なスライドなどの（パワーポイントなど）ビジュアルツールを制作することができ、魅力的に表現することができる。	プレゼンテーションに必要なスライドなどの（パワーポイントなど）ビジュアルツールをある程度制作することができ、表現することができる。	プレゼンテーションに必要なスライドなどの（パワーポイントなど）ビジュアルツールを十分に表現することができていない
レポート	授業の内容を十分に理解し、自分の言葉でレポートを書いている	授業の内容を理解し、自分の言葉でレポートを書いている	授業の内容をある程度理解し、レポートを書いている	授業の内容を十分に理解していない。レポート提出がなされていない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 授業全体の概要説明	このシラバスを精読しておく	15分
第2回 私は誰？と自己PRの概要説明	前回授業の復習	30分
第3回 やってみよう2分間自己PR①(プレゼンテーション)	自己PRの内容を考えておく	40分
第4回 やってみよう2分間自己PR②(プレゼンテーション)	自己PRの内容を考えておく	40分
第5回 やってみよう2分間自己PR③(プレゼンテーション)	自己PRの内容を考えておく	40分
第6回 伝える力、伝えるためには	第1回～5回の復習	40分
第7回 プレゼンテーションの分析	第1回～6回の復習	40分
第8回 ビデオ鑑賞 -プロのプレゼンテーションの鑑賞-	第1回～7回の復習	40分
第9回 企画のグループプレゼンテーションの概要説明・アイデア出し 「楽しい移動動物園を考えよう」	プレゼンテーションに使用する機材・道具の準備をしておく	15分
第10回 企画のグループワーク -プレゼンテーション資料作成	企画のアイデアを考えておく	40分
第11回 企画のグループプレゼンテーション	プレゼンテーションの準備をしておく	40分
第12回 プレゼンテーション演習のまとめと一年の成果のプレゼンテーションの概要説明	今までの配布資料をまとめて熟読しておく	40分
第13回 一年の成果をプレゼンテーションする①	プレゼンテーションの準備をしておく	40分
第14回 一年の成果をプレゼンテーションする②	プレゼンテーションの準備をしておく	40分
第15回 一年の成果をプレゼンテーションする③	プレゼンテーションの準備をしておく	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業への貢献・積極的関与25%、授業で配るプリントの提出15%
授業内での実技テスト（プレゼンテーション）60%

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションに対する教員の評価と公聴した学生の意見をまとめて発表者に返却する。

教科書・参考書

授業でプリントを配布